

平成17年10月20日

各位

会社名 株式会社名村造船所  
代表者名 代表取締役社長 名村 建彦  
(コード番号 7014 大証 第1部)  
問合せ先 取締役兼常務執行役員経営業務本部長  
井 関 延 行  
(TEL 06-6543-3561)

### 業績予想の修正について

平成18年3月期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)の業績予想につきまして、平成17年5月20日決算発表時の業績予想を下表のとおり修正いたします。

#### 1. 連結業績予想の修正について

平成17年9月中間期(平成17年4月1日~平成17年9月30日)

(百万円未満は四捨五入して表示しております)

	単 位	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 ( A )	百万円	38,600	750	920
今回修正予想(B)	百万円	39,200	240	25
増 減 額 ( B ) - ( A )	百万円	600	990	945
増 減 率	%	1.6	-	-
ご参考:前中間期(H16.9)実績	百万円	33,263	37	10

#### 2. 単体業績予想の修正について

平成17年9月中間期(平成17年4月1日~平成17年9月30日)

(百万円未満は四捨五入して表示しております)

	単 位	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 ( A )	百万円	29,700	1,430	1,410
今回修正予想(B)	百万円	29,600	400	450
増 減 額 ( B ) - ( A )	百万円	100	1,030	960
増 減 率	%	0.3	-	-
ご参考:前中間期(H16.9)実績	百万円	25,468	708	410

#### 3. 修正の理由

中間期業績予想の上方修正の主たる理由は、連結財務諸表提出会社(当社)の業績予想の修正であります。

売上高におきましては、ほぼ予想通り進捗しておりますが、損益面におきましては、緩やかながら円安傾向となったことと併せて、平成17年4月から新たな3ヶ年の中期経営計画「サバイバル2007」をスタートさせ省力化設計・生産効率の改善等を促進させると共に、全社一丸となってコスト削減に取り組んだ結果、当初予想より改善することができました。

しかしながら、通期連結・単体業績予想におきましては、船用資機材価格の当初予想以上の上昇及び鋼鉄製橋梁工事に関して公正取引委員会からの排除勧告に応諾したことによる業績の影響を勘案し、当初業績予想となる見込みです。

なお、本公表時における未ヘッジ外貨は32百万ドルであり、1米ドル当たり110円を前提としております。

#### 4. 配当予想

当社の中間配当につきましては、公表どおり1株2円を予定しております。

以 上